

○11月26日(日)開催

第3006回例会 兵庫県山岳連盟同調

開港150年記念/第59回六甲合同登山

「近畿自然歩道の秋を楽しむ」を企画・運営して

会長 吉野 宏(岳連常任理事/普及委員長)



ササユリの記念バッジ

兵庫県山岳連盟が、加盟団体の交流と会員相互の親睦を図り、併せて一般市民にもより山に親しんで頂くことを目的に行ってきた「六甲合同登山」。昭和34年秋にスタートし、59年もの歴史を刻んできた兵岳連の名物行事である。しかしながら、ヒヨコモそうであるように、加盟団体会員の高齢化が進み、参加される方が年々減って来たことを若干寂しく感じているのは私だけではないだろう。「山に親しんで頂く」ことの普及活動を担っている責任者としては企画・運営面で頭の痛いところでもある。従って近年は、斜度のキツイ登りは避けて、出来るだけ起伏の少ない六甲山地のコースを歩いて頂くように心掛けている。今回企画を立てる上に於いてのキーワードは・・・①開港150年を意識、②静かな道、③秋色を楽しむ、④歩けた満足感!・・・等であった。そして選んだのが「幻の道・徳川道」の一部を含んだ「近畿自然歩道・山陽路ルートNo.40/六甲山 港神戸パノラマの道」である。



六甲記念碑台での開会式風景

11月26日(日)午前9時30分、六甲山開発の祖・AHグループさんの銅像が建つ記念碑台に集合。奥岳連理事(ヒヨコ旗振支部)の司会で

始まった開会式は、中西岳連会長のご挨拶、吉野朱美自然保護委員長の「六甲の花シリーズ記念バッジ・ササユリ」についての説明、そして引率する私よりコース説明や注意事項などを終え、編成していた1班より5班までが順次スタートした。コースは、記念碑台～自然観察路～ノースロード～ダイヤモンドポイント～三国ヶ池～穂高湖(昼)～徳川道～トエンティックロス～市ヶ原～貯水池～布引徳光院(ゴール)である。



1班(上): 一般参加者と保久良支部の皆さん
～ダイヤモンドポイントにて～

2班(下): 布引支部の皆さん



9時40分、標高796Mある記念碑台からのスタートは、ダイヤモンドポイントまでの平坦な道に行きかう登山者は無く、静かな道を北神戸の山々を望みながらゆっくりと歩くことが出来た。



3班(上): ウェスタンクラブと姫路山岳会の皆さん
～ダイヤモンドポイントにて～

4班(下): 一王山・再度・唐櫃各支部の皆さん



5班(上): 旗振・高取各支部と岳連役員の皆さん

ダイヤモンドポイントで小休止。北から西にかけての眺望がすばらしく、格好の休憩場として欠かす事の出来ないこの場所は、正にダイヤモンドポイントの名がぴったりである。

再びノースロードに出て三国ヶ池へ向う。途中、餅を3段重ねた様な岩場があるが、昔は眺望が良かったのだろう、この岩の上に立つと、摂津・播磨・淡路の3国が見渡せたことから三国岩の名が付いたらしい。今は近年の大雨や台風で崩れやすくなっているので立入禁止であった。

そこから三国ヶ池はものの3分。この池のすぐ近くに六甲山開祖の父と慕われたグルームさんが別荘を建て登山道の整備やゴルフ場の開発など、六甲山における自然保護と開拓に力を注がれたことは皆さんの知る所である。この池で天然の氷が作られたり、その後、自然のスケート場として



上: 姫路山岳会の皆さん

～穂高湖での昼食風景～

下: 一般参加の仲良しお母さんと子供たち



使われたことはあまり知られていないであろう。

車道を渡り、縦走路を約 30 分歩き、11 時 45 分に昼食を予定していた穂高湖に着いた。



上：超豪華な昼食の保久良支部の皆さん
～穂高湖での昼食風景～

下：こちらは如何でした？高取支部の皆さん



上：旗振支部・再度支部の皆さん

当初、穂高湖での昼食時間は 30 分程度と計画していたが、トイレ休憩を含むと約 1 時間をついやした。穂高湖からは今回のメインルート「歴史の道・幻の徳川道」を辿るのであるが、出発する前に、この道に纏わる歴史カルチャーを岳連・田中理事より受けることとなった。



田中理事の説明に聞き入る皆さん

「幕末の開港を目前にした神戸。幕府は外国人とのトラブルを避けるため、三ノ宮付近の外国人居留地を避ける迂回路が必要であると考え、1867年、石屋川から灘の杣谷を經由して明石の大蔵谷まで迂回路を造るよう命令し、莫大な費用を掛けてわずか 2 ヶ月で完成。しかし、この道が活用されたのはたった 1 回のみ。」・・・用意したヒモで、道幅を解りやすく説明するなど、熱の入ったカルチャーであった。・・・



堰堤の高巻き道を下る参加者



縦走路より世継山北面の紅葉風景

も無く、予定していた時間より 1 時間遅れのゴールとなったが、14 キロの行程を元気に走破され、用意していた「完歩賞」を受け取られた後の解散とした。

天 候 晴れのち曇り

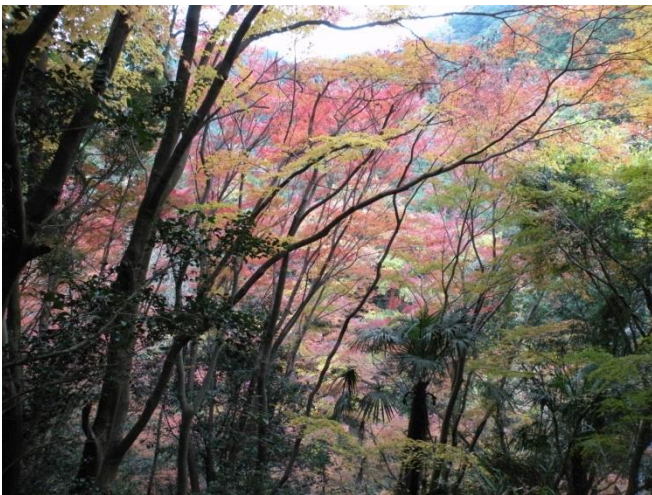
担 当 例会委員会

兵庫県山岳連盟/普及委員会

自然保護委員会

申込者 134 名（内当会員 98 名）

参加者 106 名



市ヶ原から紅葉茶屋前への登山道より



布引貯水池に写る紅葉風景

トエエンティクロスの流れを渡る「石渡り」では、足を滑らす参加者もおられたが、幸いに怪我